

平成 2 7 年度

公益社団法人 全国大学体育連合

事業報告書

平成27年度 公益社団法人全国大学体育連合 事業報告

I. 概要（常務理事会活動）

基本方針

関連学協会や行政との連携や国際的な交流のみならず、各種研究会を支援し、大学体育に関する堅固なネットワークの構築を目指す。

少子化による大学減少期に備えて、財務基盤を盤石にし、生産性の高い組織運営システムを確立する。

推進事業:

1. 会員の参加促進

支部情報ページの活用、研修会参加者数増、『大学体育学』投稿数倍増、研究フォーラム参加者数増

2. 広くて堅固な連携

各種研究会との連携(研修会等の共催・後援)、ネットワークづくり、関連団体との連携

3. 各事業の発展

社会・地域貢献の促進、研究・研修成果の蓄積、表彰者・表彰校数増

4. 盤石な財務基盤の確立

会員増(大学会員、賛助会員)、収入増・経費節減:組織運営検討特別委員会設置、会員種別・会費見直し

5. 生産性の高い組織運営

達成目標(数値)設定とその中間評価、進捗管理:組織運営検討特別委員会設置、事務局の増強

II. 詳細

II-1 【公益目的事業】

1. 公 1: 大学教育及びその他の高等教育における体育・スポーツ、保健教育に関する調査や研究を支援、助成し、優秀な調査や研究、教育、FD活動を推進する事業

(1) 研究事業(事業種類 07)

1) 機関誌『大学体育』(105号6月・106号12月) 編集・発行: 編集出版部

取材・出張(会議・編集に関わる記録作成など)

- ①総会(慶應義塾大学)3月26日
- ②全国研修会(東北支部:八甲田スキー場)講演、研修会等(3月2日~5日)
- ③日本体育学会(東京:国士舘大学)講演、共催シンポジウム 8月27日
- ④第6回指導者養成研修会(立教大学池袋キャンパス)8月19日~21日
- ⑤その他

2) 研究論文誌『大学体育学』編集・発行: 大学体育学編集委員会

- ①『大学体育学』投稿規定の改定(平成27年5月)
- ②第12号編集・発行(平成27年3月) 総説1編 原著論文1編 研究資料5編

③第13号原稿募集後審査中 掲載数 9編(原著論文1編、事例報告4編、研究資料4編)

3) 日本体育学会第66回大会 共催シンポジウムの開催：渉外部

期日：8月27日

会場：世田谷区民会館ホール

内容：テーマ「東京オリンピック・パラリンピックと大学連携」

共催：日本体育学会

4) 研究集会「大学体育研究フォーラム」の開催：大学体育関連情報調査チーム

平成27年2月9日～10日、筑波大学東京キャンパスで開催し、74人が参加し、17件の発表があった。

(2) 助成事業(事業種類09)

1) 大学体育研究助成：調査研究部

平成26年度に交付した研究課題の報告書(論文)を受け付け、平成27年度に交付した研究課題の管理監督、および平成28年度に交付する研究課題の募集と審査の事務を担当した。平成28年度の研究助成には、一般研究11件、特定課題研究4件の応募があり、以下の一般研究3件、特定課題研究2件に助成することを常務理事会で決定した(敬称略)。助成金額は、合計で99万5千円であった。

①一般研究助成

1. 中井聖、齋藤剛(静岡福祉大大学)

「学習形態や実施するスポーツ種目を変えて大学体育実技授業を実施した際の受講学生のライフスキルの獲得状況の違い」

2. 勝亦陽一(東京農業大学)

「生まれ月は大学体育参与及び体育に対する意識に影響するか」

3. 小林雄志(熊本大学) 檜崎兼司(福岡工業大学)、赤木亮太(芝浦工業大学)、小笠原理紀(名古屋工業大学)

「大学体育授業を活用した理系の高大接続・初年次教育—スポーツを題材とした科学教育におけるアクティブラーニング・反転学習のためのeラーニング教材開発—」

②特定課題研究助成

4. 石崎聡、浜野学、生方謙、根岸輝彦、(芝浦工業大学)、石崎順子(日本保健医療大学)、稲山貴代(首都大学東京)、内藤久士(順天堂大学)

「大学で実施する運動教室への継続的参加が高齢者の体力及び健康関連QOLに及ぼす影響」

5. 清水安夫、山内宏志(国際基督教大学)、宮崎光次、山口裕貴(桜美林大学)、石井哲次、後藤篤志(神奈川大学)

「大学体育参加者による体育授業評価尺度の開発」

2) 震災復興支援：復興支援事業委員会

①復興支援活動補助金

会員がおこなう支援活動への補助金申請の受付をしたが、申請はなかった。なお、2012年度から2014年度の支援活動報告を『大学体育』第105号に掲載誌、同誌を東北大学図書館に

寄贈した。

②復興支援募金

1月1日から12月31日までの募金は3件で、募金額合計は4万円あまりであった。

(3) 表彰事業 (事業種類 01)

1) 大学体育連合賞：総務部

大学体育連合賞として飯田稔氏を決定した。

2) 大学体育教育賞：総務部

大学体育教育賞として池田幸應氏(金沢星稜大学)、吉村喜信氏(福井工業大学)、橋本公雄氏(熊本学園大学)、根上優氏(個人会員)、飯干明氏(鹿児島大学)、高丸功氏(学習院大学)、重城哲氏(日本大学)を決定した。

3) 大学体育優秀論文賞：大学体育学編集委員会

平成27年度の表彰対象者の審査をおこない、該当論文なしと決定した。

4) 大学体育FD推進校表彰制度の見直し：組織運営特別委員会

平成27年度は制度の見直しを行った。

5) 大学体育研修精励賞：研修部

研修精励賞として高橋和将氏(新潟医療福祉大学)、松波登久馬氏(近畿大学)を決定した。

2. 公2：大学教育及びその他の高等教育における体育・スポーツ、健康・保健教育に関する調査、研究等の資料や情報の収集とその成果を研究会や研修会、講習会、機関誌、情報誌により一般公衆に提供する事業

(1) 研修会事業 (事業種類 09)

1) 平成27年度大学体育指導者全国研修会の開催：東北支部・研修部

期日：3月2日～5日(3泊4日)

会場：八甲田スキー場ほか

内容：バックカントリー研修、雪山のリスクマネジメント講義・ディスカッション、情報交換ほか

後援：文部科学省

参加人数：25名(会員23名、専業非常勤1名、大学院生1名)

場所：〒030-0111 青森市荒川南荒川山国有林酸湯沢50番地

主管：東北支部

2) 第6回大学体育指導者養成研修会の開催：研修部

期日：8月19日～21日(2泊3日)

会場：立教大学池袋キャンパス

内容：クライミング、テニス、バレーボール、体験講習、特別講演、文部科学省講演、講義・ディスカッション、情報交換ほか

後援：文部科学省

参加人数：39名

場所：〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1

主管：研修部

3) 関連諸団体への研修会支援補助金交付：研修部

以下に交付した。

- ①平成 26 年度スノーボード研究会冬期研修会（1/20～23）
- ②第 19 回全国大学ゴルフ指導者研究会（3/1～3）
- ③関東地区大学テニス研究会平成 27 年度春季研修会（5/24）
- ④第 57 回大学体育指導者スケート研究集会（12/5～6）

4) 大学体育教員開発研究会の開催：大学体育関連情報調査チーム

平成 27 年 8 月 21 日に立教大学で開催し、7 人が参加した。

5) 大学教員就職セミナーの開催：大学体育関連情報調査チーム

平成 27 年 8 月 21 日に立教大学で開催し、7 人が参加した。

6) 学生リーダーシップ指導者研修会：課外活動特別支援委員会

フランクリン・コヴィー・ジャパン株式会社と連携した研修会開催準備を開始した。

7) 第 1 回カレッジ・スポーツ・シンポジウム：課外活動支援特別委員会

10 月 17 日に、『第 1 回カレッジ・スポーツ・シンポジウム』（朝日新聞社共催）を日本大学文理学部百周年記念館にて開催した。

8) 第 3 回スポーツ健康系学科長協議会：渉外部

期日：2 月 28 日

会場：日本大学理工学部駿河台校舎 131 教室

内容：体育・スポーツ学部に属さない体育・スポーツ・健康系学科や課程が共通してかかえている課題を協議する。今回は「アスリート学生の支援」を協議テーマとした。

(2) 調査、資料収集事業（事業種類 07、09）

1) 教育実態調査の見直し：調査研究部

体力測定調査との統合や調査項目の拡充や回収率の向上を目的に、平成 27 年度実施予定の教育実態調査は実施せず、平成 28 年度に実施することとした。

2) 体力測定調査の実施：調査研究部

平成 26 年度体力測定結果調査報告書を発行した。84 校から回答いただいた体力測定結果に関する調査結果をまとめた。

3) 大学体育関連情報マンスリーレポートの発行：大学体育関連情報調査チーム

12 回発行した。(メールニュースで通知し、ホームページに掲載した。)

4) 平成 26 年度大学体育関連文献調査：大学体育関連情報調査チーム

26 年度に大学紀要等に掲載された大学体育関連文献の一覧を『大学体育』第 105 号に掲載した。

5) 教職課程の必修体育に関する調査：大学体育関連情報調査チーム

教職課程の必修科目である体育についての実態調査を行い、集計結果はホームページ上で 7 月に公開した。

6) スポーツ・クラブ統括組織調査（体育局調査）：課外活動支援特別委員会（朝日新聞社との共同調査）

- ①朝日新聞に掲載（2015 年 5 月 8 日朝刊）された。
- ②調査結果のダイジェスト版を本連合ホームページに掲載した。

③報告書を『大学体育』第105号に掲載した。

④結果の概要を日本体育学会（於：国土舘大学）およびカレッジ・スポーツ・シンポジウム（於：日大文理学部）にて報告した。

7) 学生競技連盟調査：課外活動支援特別委員会（朝日新聞社との共同調査）

①朝日新聞に掲載（2015年8月8日朝刊）された。

②調査結果のダイジェスト版を本連合ホームページに掲載した。

③報告書を『大学体育』第106号に掲載した。

④結果の概要を日本体育学会（於：国土舘大学）およびカレッジ・スポーツ・シンポジウム（於：日大文理学部）にて報告した。

8) 大学スポーツ推進表彰制度調査：課外活動支援特別委員会

米国のNCAAの事例などを参考に、運動部学生の表彰制度などの調査を開始した。

9) 東京オリンピック・パラリンピック大学連携実態調査：地域貢献推進WG

2014年12月15日～2015年1月25日に実施した調査結果を『大学体育』第105号に掲載し、ダイジェスト版をホームページに掲載した。

10) 文部科学省「スポーツを通じた地域コミュニティ活性化促進事業」受託大学事例：地域貢献推進WG

標記事業を受託した会員にその概要を紹介する記事を『大学体育』第105号に投稿してもらい、掲載した。

11) 被災大学インタビュー調査：復興支援事業委員会

平成26年12月3日に石巻専修大学と宮城教育大学にインタビューした結果を『大学体育』第105号に報告した。

12) 関連団体の情報収集と情報発信：渉外部

①健康日本21推進全国連絡協議会総会への出席：3月2日

②健康日本21推進全国連絡協議会関連分科会への出席：3月20日、26日

③ICHPERSD(国際保健体育レクリエーション・スポーツ・ダンス協議会)からの情報収集とメールニュースによる情報発信

④ICSSPE(国際スポーツ科学体育協議会)からの情報収集とメールニュースによる情報発信

13) 研修会の実施に要する外部資金調達に関わる活動：研修部

日本スポーツ振興センターくじ助成金を獲得し、指導者養成研修会の運営に活用した。

14) 書籍「大学における課外スポーツ支援Q&A」（仮称）の編集：課外活動特別支援委員会

課外活動支援に関するQ&A集を作成中であり、随時大体連HPにアップしている。（一社）日本私立大学連盟学生生活支援研究会とも連携・協力をし、書籍の編集に向けて準備した。

15) ホームページによる情報発信と管理：広報部

①ホームページの管理・更新

月別アクセス数

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
総 数	15614	11172	9634	9263	10237	-	-	9570	10315	11544	10213	8863
前 年	13574	12284	12148	11889	11313	13919	14572	13104	18566	17484	13423	14278

※H27年6月、7月はサーバクラッシュにより統計取れず

16) メールニュースの定期配信：広報部

配信 76 件、登録者数 1,404 人(12月31日現在)

17) 会員専用ページの新設：広報部

情報配信と会員登録システムの運用開始、配信 2 件、登録者数 59 人(12月31日現在)

II-2 【法人の管理運営に関わる事項】

1. 会議・運営に関わる事項の記録

(1) 総会、理事会、常務理事会、支部長会

平成 27 年 2 月 27 日 第 1 回常務理事会・第 1 回理事会
3 月 26 日 通常総会・臨時理事会
4 月 11 日 第 2 回常務理事会
5 月 29 日 第 3 回常務理事会
6 月 19 日 第 4 回常務理事会
7 月 24 日 第 5 回常務理事会
8 月 18 日 支部長会
10 月 9 日 第 6 回常務理事会
11 月 20 日 第 7 回常務理事会
12 月 12 日 第 8 回常務理事会・第 2 回理事会

2) 監査：総務部および監事

平成27年2月26日：平成26年度収支決算監査

3) 事業運営関係記録 1

- ①内閣府への平成26年度事業報告(含む決算報告)の届け出(3月末日)及び事後対応
- ②事務所および事務の適正な運営
- ③会計処理(税務処理を含む)の執行(公認会計士へ支援を委託)
本年度、高丸副部長が会計を担当した。
会計士との打ち合わせを2月、4月、10月、11月に行った。
- ④各支部との連携
平成 27 年 8 月 18 日に支部長会を開催した。
- ⑤会員管理
- ⑥定款と諸規則改正の検討
- ⑦機関誌・報告書のバックナンバー管理
- ⑧役員管理(法務局への手続き等)

- ⑨新法人制度の情報収集・事務処理
- ⑩70周年記念事業準備金積立
- ⑪内閣府への平成27年度事業計画および予算の届け出(12月末日)
- ⑫内閣府からの立入検査
- ⑬パンフレットをリニューアル: 広報部が中心となり4月に1000部作成した
- ⑭大体連旗の作成: 広報部

Ⅱ-3 【収益事業】

収益事業として視野に入れている図書発行业について、テーマ及び執筆者等の具体化に向けて検討した。

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成していません。

(1) 事務所の業務曜日等

◇業務曜日：月～金曜日（午前10時～午後4時）の5日間

◇職員：下野朋子、萩原梨沙（～9月30日）重藤絵美（9月17日～）

(2) 部会・委員会

総務部 1回

研修部 7回

調査研究部 2回

編集・出版部 8回

広報部 3回

渉外部 6回

大学体育学編集委員会 1回＋メール会議（投稿論文受付時ごと随時）

組織運営特別委員会 メール会議（随時）

課外活動支援特別委員会 12回

震災復興支援事業委員会 メール会議（10回）

大学体育関連情報調査チーム メール会議（72回）

地域貢献推進ワーキンググループ メール会議（20回）

(3) 構成員

1) 総務部

部長：井上直子（青山学院大学）

副部長：高丸功（学習院大学）

副部長：雪吹誠（目白大学）

委員：木内敦詞（筑波大学）

委員：石崎聡之（芝浦工業大学）

委員：田畑亨（流通経済大学）

委員：福士徳文（慶應義塾大学）

2) 研修部

部長：谷藤千香（千葉大学）

副部長：柳田信也（東京理科大学）

委員：石井秀行（立教大学）

委員：石渡貴之（立教大学）

委員：雪吹誠（目白大学）

委員：今西平（立教大学）

委員：北徹朗（武蔵野美術大学）

委員：後藤光将（明治大学）

委員：白井巧（国際基督教大学）

委員：西島壮（首都大学東京）

3) 調査・研究部

部長：飯野要一 (東京大学)

副部長：竹市勝 (国士舘大学)

副部長：林 容一 (法政大学)

4) 編集・出版部

部長：村本和世 (日本体育大学)

副部長：武田丈太郎 (新潟医療福祉大学)

委員：飯田祥明 (上智大学)

委員：園部豊 (日本体育大学)

委員：高橋宗良 (鎌倉女子大学)

委員：森 健一 (武蔵大学)

委員：山田盛朗 (東京都市大学)

5) 広報部

部長：北 徹朗 (武蔵野美術大学)

副部長：石崎聡之 (芝浦工業大学)

副部長：高橋宗良 (鎌倉女子大学)

委員：鷺谷浩輔 (千葉商科大学)

6) 渉外部

部長：重城哲 (日本大学)

副部長：白土男女幸 (日本体育大学)

委員：寺田佳代 (国際基督教大学)

委員：難波秀行 (和洋女子大学)

委員：中田賢一 (平成国際大学)

委員：安住文子 (日本大学)

委員：近藤克之 (日本大学)

委員：廣瀬立朗 (桐蔭横浜大学)

委員：中丸信吾 (順天堂大学)

7) 大学体育学編集委員会

委員長：木内敦詞 (筑波大学)

副委員長：西田順一 (群馬大学)

委員：金山千広 (神戸女学院大学)

委員：後藤光将 (明治大学)

委員：鈴木久雄 (岡山大学)

委員：園部豊 (日本体育大学)

委員：田原亮二 (名桜大学)

委員：中田征克 (防衛大学校)

8) 組織運営特別委員会

委員長：雪吹誠 (目白大学)

副委員長：柳田信也 (東京理科大学)

委員：越澤亮 (目白大学)

9) 課外活動支援特別委員会

- 委員長：北 徹朗 (武蔵野美術大学)
- 委員：小林勝法 (文教大学)
- 委員：高橋宗良 (鎌倉女子大学)
- 委員：伊東克 (帝京大学)
- 委員：西垣景太 (中部大学)
- 委員：重藤誠市郎 (個人会員)
- 委員：越部清美 (法政大学)
- 委員：渡辺英次 (専修大学)
- 委員：浅井泰詞 (個人会員)

10) 復興支援事業委員会

- 担当理事：小林勝法 (文教大学)
- 委員長：高橋宗良 (鎌倉女子大学)
- 委員：荒井啓子 (学習院女子大学)
- 委員：黒須充 (順天堂大学)
- 委員：中村民雄 (福島大学)
- 委員：村山光義 (慶應義塾大学)
- 委員：山崎省一 (石巻専修大学)

11) 大学体育関連情報調査チーム

- 代表：小林勝法 (文教大学)
- 研究員：飯田路佳 (十文字学園女子大学)
- 研究員：岡田光弘 (国際基督教大学)
- 研究員：木内敦詞 (筑波大学)
- 研究員：北 徹朗 (武蔵野美術大学)
- 研究員：小林雄志 (熊本大学)
- 研究員：角南良幸 (福岡女学院大学)
- 研究員：高橋宗良 (鎌倉女子大学)
- 研究員：田原亮二 (名桜大学)
- 研究員：中山正剛 (別府大学短期大学部)

12) 地域貢献推進ワーキンググループ

- 座長：小林勝法 (文教大学)
- 委員：黒須充 (順天堂大学)
- 委員：師岡文男 (上智大学)
- 委員：飯田祥明 (上智大学)

平成27年度 北海道支部事業報告

I 研修会事業

北海道支部研修会の開催

① 「北海道支部ヒールフリースキー研修会」

期日：3月21日～23日（2泊3日）

会場：北海道虻田郡倶知安町字山田グランヒラフスキー場

内容：積雪地の冬季の体育：大學教育におけるスキーを中心とした生涯体育の展望

協力：北海道教育大学旭川校

参加人数：5名（会員5名）

場所：〒044-0081 住所北海道虻田郡倶知安町字山田グランヒラフスキー場

主管校：北星学園大学

② 「体育授業に生かすGボールを使った体づくり運動と初心者指導のための卓球練習法」
北海道支部研修会」

期日：11月21日～22日（1泊2日）

会場：北星学園大学 体育館（サブアリーナ、ミーティングルーム）

内容：体育授業に生かすGボールを使った体づくり運動と初心者指導のための卓球練習法

協力：北海道教育大学旭川校

参加人数：5名（会員2名、非会員3名）

場所：〒004-8631 北海道札幌市厚別区大谷地西2丁目3-1

主管校：北星学園大学

II その他の事業

なし

III 支部運営記録（支部総会等会議）

①北海道支部・支部総会

期日：3月23日

場所：ホテル第一会館

②北海道支部・支部運営委員会

期日：3月23日

場所：ホテル第一会館

以上

平成27年度 東北支部事業報告

I 研修会事業

1) バックカントリー研修会の開催

期日：3月2日～5日（3泊4日）

会場：八甲田スキー場 宿泊：酸ヶ湯温泉旅館

内容：全国研修会を東北支部主管で実施するため、東北支部冬季研修会との共同開催として実施

1日目

講義：「積雪の状態から判断する冬山のリスクマネジメント」

講師／佐々木大輔（日本山岳ガイド協会）

実技研修：バックカントリー装備品の使い方、雪崩捜索演習、積雪状態観察法

講師／佐々木大輔、山内拓巳（石巻専修大）

講演：「バックカントリーの魅力とリスクマネジメント」

講師／佐々木大輔（日本山岳ガイド協会）

2日目

実技研修：バックカントリーの基礎技術／応用技術（班別ツアー）

講演：「八甲田の自然とバックカントリー用具の最新事情」

講師／浜部信彦（酸ヶ湯ガイド主任）

3日目

実技研修：バックカントリーの応用技術（班別ツアー）

グループディスカッション：各大学におけるスノースポーツ授業の現状と課題

4日目

実技研修：バックカントリーの応用技術（班別ツアー）

共催：全国大学体育連合

参加人数：30名（内：東北支部5名、会員23名、専業非常勤1名、非会員1名）

場所：〒030-0188 住所：青森市荒川寒水沢 1-12

主管校：福島大学

2) 課題研究

実施せず

3) 調査研究

実施せず

4) 研究誌の発行

発刊せず

II その他の事業

なし

III 支部運営記録（支部総会等会議）

① 支部総会

期 日：12月9日（水）
場 所：福島大学情報処理センター

②支部運営委員会

期 日：12月9日（水）
場 所：福島大学情報処理センター

※メール会議：7月2日、8月3日、11月26日

以 上

平成27年度 関東支部事業報告

I 研修会事業

(第1回研修会)

日 時 : 2015年3月24日(火) 10時～(受付開始9:30)

場 所 : 桐蔭横浜大学(神奈川県横浜市青葉区鉄町1614番地)

対象者 : 関東支部所属の大学教員もしくは、それ以外の大学教員及び大学生、大学院生

全体テーマ : コミュニケーションと身体

第1部 講演(10:00～11:00)

会場 : 桐蔭横浜大学 大学中央棟3階 304教室

テーマ : 大学生のためのコミュニケーション能力

講演者 : 松田 哲(流通経済大学スポーツ健康科学部教授)

第2部 シンポジウム(11:10～12:10)

会場 : 桐蔭横浜大学 大学中央棟3階 304教室

テーマ : 大学生の「身体」を考える

司 会 : 田簗健太郎(流通経済大学スポーツ健康科学部教授)

シンポジスト : 北川 雄介(株式会社 スリーピーシーズ ボディアジャスター)

平岡 洋二(株式会社 アスリート 代表取締役)

第3部 実技(グループワーク)(13:00～14:30)

会場 : 桐蔭横浜大学 大学中央棟1階 C101 教室(トレーニング室)

①BAM(ボディアジャストメソッド) ②トレーニング

質疑応答

II その他の事業

なし

III 支部運営記録(支部総会等会議)

1. 第1回運営委員会 平成27年3月8日(日)
2. 第2回運営委員会 平成27年3月24日(火)
3. メール審議数回

以上

平成27年度 東海支部事業報告

I 研修会事業

1) 研修会の開催

・夏期研修会の開催 (東海支部主催)

多大学学生パネル調査構想に関するシンポジウム

期日：7月17日(金) 18時30分～21時00分

会場：日本福祉大学名古屋キャンパス 北館 8階AB

内容：

1. 健康格差とライフコース疫学：多大学パネルとベンチマークの可能性

近藤克則 (千葉大学)

2. 大学体育連合東海支部の8大学調査の到達点と課題

池上久子 (南山大学)

3. 日本福祉大における縦断調査の取組み

①大学生における社会的排除／包摂と逆境下成長の過程と要因に関する

縦断研究の概要紹介ー本研究の方向性と学生像把握のための調査項目の体系ー

中村信次・笹川修 (日本福祉大学)

②「学生像」把握項目を中心とした縦断分析から見えてきたこと

小平英志 (日本福祉大学)

③日本福祉大学の縦断研究の展望

山崎喜比古 (日本福祉大学)

それぞれ20分程度で100分、10分休憩

4. 討論40分

後援：公益社団法人全国大学体育連合

主催：公益社団法人全国大学体育連合東海支部

参加人数：25名 (会員25名)

場所：〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田5-22-35 日本福祉大学名古屋キャンパス

主管校：南山大学

・冬期研修会の開催 (東海支部主催)

冬期スノースポーツ研修会

期日：12月26日(土)～28日(月)

会場：平湯温泉スキー場(26・28日)、ほおのき平スキー場(27日)

内容：

1. 楽しく安全な滑走技術とその指導方法について
2. アルペンスキー技術またはスノーボードの最新技術について
3. ビデオを活用した指導法について

アルペンスキーの部

スノーボードの部

主催：公益社団法人全国大学体育連合

主管：公益社団法人全国大学体育連合東海支部

参加人数：62名（会員60名、非会員2名）

場所：平湯温泉「平湯プリンスホテル」

〒506-1433 岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯 128-6 電話 0578-89-2323

主管校：南山大学

2) 課題研究

第1分科会：骨粗鬆症の予防に関する研究

大学生の骨粗鬆症予防に関する研究 -骨密度、体格、運動習慣、生活習慣について-

3) 調査研究

特になし

4) 研究誌の発行

大学保健体育研究：第34号（平成27年3月発行）

II その他の事業

協賛事業：（公財）名古屋市教育スポーツ協会「スポーツ実践相談」講師派遣

III 支部運営記録（支部総会等会議）

①支部総会

期 日：11月14日（土）16:30～17:30

場 所：南山大学瀬戸キャンパス 会議室3

②支部運営委員会

期 日：4月24日

場 所：第1回支部運営Eメール会議

期 日：5月29日

場 所：第2回支部運営Eメール会議

期 日：10月7日

場 所：第3回支部運営Eメール会議

期 日：10月21日

場 所：第4回支部運営Eメール会議

期 日：10月26日

場 所：第5回支部運営Eメール会議

期 日：11月14日（土）16:00～16:30

場 所：南山大学瀬戸キャンパス 会議室3

以上

平成27年度 北陸支部事業報告

I 研修会事業

1) 冬季研修会（スキー）の開催

期日：2月15日～16日（1泊2日）

会場：野沢温泉スキー場

内容：I. スキー技術研修とともに、特色ある奥信濃のリゾート野沢温泉スキー場の魅力に迫る

II. スノースポーツの未来を考える（野沢温泉村に学ぶ）

後援：なし

協力：なし

協賛：なし

参加人数：7名（会員7名、専業非常勤0名、非会員0名）

場所：〒389-2502 長野県下高井郡野沢温泉村大字豊郷

主管校：富山大学

2) 夏季研修会（ゴルフ・軽スポーツ）の開催

期日：9月7日～8日（1泊2日）

会場：金沢工業大学天池自然学苑、千里浜カントリー倶楽部、金沢マンテンホテル駅前

内容：I. 実技研修 A. ゴルフ（アプローチの技術）

1) アプローチ練習としてのターゲットバードゴルフの利用について（金沢工業大学天池自然学苑）

2) アプローチ実践 ゴルフラウンド研修（千里浜カントリー倶楽部）

B. ビーチボール・フレッシュテニス研修（金沢工業大学天池自然学苑体育館）

II. 座学研修

大学体育におけるFD活動〔各大学における保健体育科目の現状と課題：障がいを持つ学生の受け入れについて〕（金沢マンテンホテル駅前）

後援：なし

協力：なし

協賛：なし

参加人数：24名（会員24名、専業非常勤名0名、非会員0名）

場所：〒920-0022 金沢市北安江1-6-1 他

主管校：金沢大学、金沢星稜大学、北陸大学、北陸学院大学

II その他の事業

（公社）全国大学体育連合研修会事業（平成28年度全国研修会準備委員会）

① 準備委員会会議1

期日 1月14日

場所 金沢工業大学

② 準備委員会会議2

期日 3月21日

場所 しいの木迎賓館

③準備委員会会議 3

期日 9月8日

場所 大敷

④会場候補地視察

期日 9月9日(水) 午前9時～午後1時

場所 福井工業大学芦原キャンパス、福井ホースパーク、福井アカデミアホテル他

⑤準備委員会会議 4

期日 10月7日

場所 金沢工業大学

⑥準備委員会会議 5

期日 10月21日

場所 金沢工業大学

⑦準備委員会会議 6

期日 11月10日

場所 福井アカデミアホテル

Ⅲ 支部運営記録(支部総会等会議)

①平成27年度事務局引き継ぎ

期日 5月26日

場所 富山大学

②支部研修会運営会議1(兼、平成28年度(公社)全国大学体育連合全国研修会準備委員会)

期日 5月27日

場所 金沢大学

③支部研修会運営会議2(兼、平成28年度(公社)全国大学体育連合全国研修会準備委員会)

日時 6月18日

場所 大敷

④支部研修会運営会議3(兼、平成28年度(公社)全国大学体育連合全国研修会準備委員会)

日時 7月13日

場所 大敷

⑤平成27年度支部運営委員会(メール会議)

期日: 11月12日

以上

平成27年度 近畿支部事業報告

I 研修会事業

1) 実技研修会の開催

期日：平成27年6月20日（土）

会場：大阪大学豊中キャンパス 第2体育館

内容：「実技授業での簡易レクリエーション・ゲームの活用について」

講師 小松敏彦（大阪大学）

レクリエーション・ゲーム（シャッフルボード、ユニカール、デビルスティック、
ピンボーリング等）の活用例について紹介した。

参加人数：14名（会員14名）

場所：〒560-0043 住所 大阪府豊中市待兼山町1-17

主管校：大阪大学

2) 講演会の開催

期日：平成27年11月7日（土）

会場：大阪大学豊中キャンパス 共B307教室

内容：メインテーマ「大学体育の実施状況について」

「神戸大学における保健体育科目（健康・スポーツ科学）の実施状況について」

講師 前田正登（神戸大学）

「学生の実態把握によるスポーツ科目の取り組みについて」

講師 市谷浩一郎（大阪電気通信大学）

各講師の講演後、活発な討議が行われた。

参加人数：26名（会員26名）

場所：〒560-0043 住所 大阪府豊中市待兼山町1-16

主管校：大阪大学

II その他の事業

なし

III 支部運営記録（支部総会等会議）

① 近畿支部・第1回支部運営委員会

期日：平成27年6月20日（土）

場所：大阪大学豊中キャンパス 多目的倉庫 ミーティングルーム2

② 近畿支部・第2回支部運営委員会

期日：平成27年11月7日（土）

場所：大阪大学豊中キャンパス 共B316教室

③ 近畿支部・支部総会

期日：平成27年11月7日（土）

場所：大阪大学豊中キャンパス 共B307教室

④ 近畿支部・第1回支部スタッフ打ち合わせ会議

期日：平成27年6月20日（土）

場所：大阪大学豊中キャンパス 多目的倉庫 ミーティングルーム4

⑤ 近畿支部・第2回支部スタッフ打ち合わせ会議

期日：平成27年11月7日（土）

場所：大阪大学豊中キャンパス 共B316教室

以上

平成27年度 中四国支部事業報告

I 研修会事業

1) 支部研修会の開催

第1回研修会（実技研修会）

期日： 1月12日（月）

会場： 岡山大学一般教育棟および第2体育館

内容： 「フライングディスク」

講師の師岡文男先生（上智大学教授、日本フライングディスク協会会長）の指導の下、午前：講義（フライングディスクの歴史、競技種目11種類、競技大会（ワールドゲームス）、アルティメット、ディスクゴルフ、ドッチビー等のルールについて）、午後：実技講習（基本的なディスクの投げ方指導、練習、アルティメット、ディスクゴルフ、ドッチビーの実践）を行った。会員参加者は授業に活かそうと真剣に取り組んでいたこともあり、充実した研修ができた。

協力： 岡山県フライングディスク協会

参加人数：36名（会員8名、非会員30名）

場所：〒700-8530 住所 岡山市北区津島中 2-1-1

主管校：岡山大学

第2回研修会（講演会）

期日： 7月1日（水）

会場： 岡山大学一般教育棟 E-11 教室

内容：「スポーツ哲学」

講師の関根正美先生（日本体育大学教授）から、「松井秀喜 甲子園5連続敬遠」「タイブレーク」「羽生結弦の演技」という3つの題材を通して、『スポーツとは何か』『私たちはスポーツを通して、何を求めているのか』ということに関して、複数の視点から解説がなされた。スポーツを多面的に捉え、複数の立場や考えを通して、スポーツとは何か、何を私たちはスポーツに求めているのかを考えることができた。多くの方が知っている問題をわかりやすく解説していただき、参加者の多くが「多面的な考え」の重要性を改めて認識した研修会であった。

参加人数：93名（会員8名、非会員85名）

場所：〒700-8530 住所 岡山市北区津島中 2-1-1

主管校：岡山大学

第3回研修会（実技研修会）

期日： 8月23日（日）

会場： 山口大学教育学部 22 番教室

内容：「認知機能低下予防のための運動プログラム 脳の活性化を目指す「メディカルフィットネス “e-エクササイズ®”」

講師の松浦亜希子先生（e-エクササイズ®代表）の指導の下、「こころ」と「体」の健康づ

くりと QOL（生活の質）の向上をめざした運動であり、脳の活性化も企図した “e-エクササイズ®” について、講義と実技の両面から研修を行った。この運動プログラムは、基本的に座位中心の運動で構成され、動きや強度は運動生理学・機能解剖学に基づいたものであった。また、プログラムの構成内容として、体性感覚から脳への連続的な刺激を与えること、重力負荷をかけること、二重課題をもちこむこと、グループダイナミクスを活用することなどを大切にしているとの解説もなされた。実技の中では、運動プログラムの前後に同じ動作を行ってもらい、関節可動域の変化や動きやすさの変化などを必ず感じてもらう、すなわち、運動効果の見える化を図っておられた。この点は一般体育でも活用すべき点ではないかと感じた。参加者にとっても「こころ」と「体」がリフレッシュできた研修会であった。

後援：山口大学教育学部

参加人数：24名（会員4名、非会員20名）

場所：〒753-8513 住所 山口市吉田 1677-1

主管校：山口大学

第4回研修会（講演会）

期日：11月11日（水）

会場：岡山大学一般教育棟 E-11 教室

内容：「スポーツと大気汚染物質」

講師の大西一成先生（鳥取大学医学部助教）から、大気汚染物質 PM2.5 を題材にして危険度の有無について問題提起し、PM2.5 が高いときには運動を控えた方がいいのか、その他にも黄砂、複合大気汚染、越境汚染とは何か、われわれの体に及ぼす健康影響、WHO の見解、予防行動の効果について講演していただいた。また、PM2.5 とは粒子径 2.5 マイクロメートルで 50% の捕集効率を持つ透過装置を透過する微粒子であり、人体に悪影響を与える物質かどうかを表しているわけではなく、正確な知識が大切と言われていた。日本各地の PM2.5 飛散状況がネット上で見る事ができる現在、スポーツ実技やスポーツ活動での対策が今後必要にならないことを祈りたい。

参加人数：48名（会員8名、非会員40名）

場所：〒700-8530 住所 岡山市北区津島中 2-1-1

主管校：岡山大学

第5回研修会（講演会）

期日：12月5日（日）

会場：山口大学共通教育 3 番教室

内容：「将来を見据えたジュニア期の効果的な体力トレーニング」

講師の藤田昌彦先生（山口県立徳山総合支援学校主事）は、全国中学校陸上競技選手権の 100m および 200m で優勝し、100m の中学日本記録を樹立した選手を、中学校 3 年間、部活動顧問として指導されてきた。その指導方法に関して講演していただいた。講演の中では、特別のことは行っただけではなく、トレーニング科学の理論に基づいて指導したこと、指導してきたことを開示し、それに関して意見交換を行いたいと述べられた。例えば、

ゆっくりした動きは行わせないといった特異性の原則など、トレーニングの原理、原則を守ること、目標を明確にし、課題を明確にしたトレーニングを行うこと、練習は課題を解決するために行うものであり、本数や量をこなすだけの練習は行わないこと、休むこともトレーニングであること（栄養、休養、トレーニングのサイクルの重要性）など、示唆に富んだ多くの話をしていただいた。参加者にとっては、練習やトレーニングの在り方を改めて見つめ直すよい機会となる研修会であった。

後援：山口大学教育学部

参加人数：31名（会員5名、非会員26名）

場所：〒753-8513 住所 山口市吉田 1677-1

主管校：山口大学

2) 課題研究

なし

3) 調査研究

なし

4) 研究誌の発行

なし

II その他の事業

なし

III 支部運営記録（支部総会等会議）

①第1回中四国支部・支部総会（メール審議）

期 日：6月8日（月）

場 所：メール会議

②第2回中四国支部・支部総会

期 日：11月28日（土）

場 所：山口大学教育学部第3会議室

以 上

平成27年度 九州支部事業報告

I 研修会事業

1. 春期研修会：「体育・スポーツ・健康に関する教育研究会議」
期日：平成27年3月14日（土）～15日（日）
場所：大分県 別府亀の井ホテル
参加者数：58名
2. 夏期研修会：「大学体育におけるコーチングとティーチング」
(九州体育・スポーツ学会との合同企画)
期日：平成27年9月11日（金）
場所：佐賀県 西九州大学神園キャンパス
参加者数：40名

II その他の事業

1. 九州地区大学体育連合機関誌「体育・スポーツ教育研究」第16巻第1号の発行補助

III 支部運営記録（支部総会等会議）

1. 支部運営委員会
 - 第1回支部運営委員会
期日：平成27年3月14日（土）
場所：大分県 別府亀の井ホテル
 - 第2回支部運営委員会
期日：平成27年5月30日（土）
場所：佐賀大学本庄キャンパス
 - 第3回支部運営委員会
期日：平成27年9月13日（日）
場所：西九州大学神園キャンパス
2. 支部総会
期日：平成27年3月15日（日）
場所：大分県 別府亀の井ホテル

以上